



畦道に咲く彼岸花(曼珠沙華)を思う

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

春や秋のお彼岸やお盆にも、必ず親に連れられて墓参りに行ったものでした。子供のころから、墓参りの時に、走り回って転ぶと早死にするとか、多くの禍に見舞われると言いつた聞かされてきました。そのためか、不思議とお寺に向かうときは殊勝なものでした。ことに秋の墓参り時には、道端や畦道などに群生し鮮やかな赤い花を見かけたものです。ジャンポン(葬儀の意のいわきの方言)花とか呼んで忌み嫌われていましたが、それが彼岸花(曼珠沙華)だったのです。

夏の終わりから秋の始めにかけて、大きく反り返り華やかで、妖しいまでの真っ赤な花を咲かせています。密生した彼岸花も長い花弁がお互いに絡み合っけなげにも身を寄り添うようにしてやがて枯れていきます。その後その場所に、晩秋の朝夕冷える頃、長さ三〇〜五〇cmの線形の細い葉をロゼット状に出します。葉は深緑でつやがあり、冬中は姿を見せていません。翌春になると枯れてしまい、秋が近づくまで地表には何も生えてきません。「花と葉が同時にすることはない」という特徴から、日本では「葉見ず花見ず」とも言われています。彼岸花を「葉は花を思い、花は葉を思う」という意味で相思華、別れ花と呼ぶことも多いようです。

異名も多く、死人花、地獄花、幽霊花、剃刀花、狐花、捨て子花、はっかけばあ、などおおくの別名・方言があり忌み嫌われている部分もあり

ます。彼岸花の鱗茎にはリコリン、ホモリコリン、ガラントアミンなどのアルカロイドが含まれ、誤って食べると、嘔吐、下痢、流涎、神経麻痺などが起きます。この毒性の為に縁起の悪い花と言われているようです。しかし、モグラが「彼岸花の球根」を好んで食べ、死んでしまう習性を利用してモグラの水田荒しや墓場荒しを防ぐために、畦道や墓地に植えられたのも事実です。

本来、彼岸花である曼珠沙華は、サンスクリット語で【manjusaka】と書きます。天界に咲く花という意味で、おめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくるという仏教の經典から来ています。曼珠沙華の語源がおわかりいただけるでしょう。花言葉は「情熱」「独立」「再会」「あきらめ」「悲しい思い出」「想うはあなた一人」「また会う日を楽しみに」と多彩な表現を含めた多くの言葉に見受けられます。華やかに見える彼岸花のそれぞれの様子を想起させ、我々の人生に重なるようです。彼岸花も枯れかけるとともに輪状に大きく開いた花が数本ずつ絡み合っけ冷たい秋風にも倒れず支えあっています。花から無常を感じ取れるのは私だけではないでしょう。

昔も、今も家族と共に彼岸には墓参りに行きます。転ばないように親に手を握られ彼岸花の咲く参道を歩きましたね。その温もりはいつまでも残っているはず。その暖かさを多くの方にどうぞ伝えてください。お願い致します。

足元は

見れじと群れて

漫珠沙華

(檜 紀代)

うつりきて

お彼岸花の

花ざかり

(種田山頭火)



介護老人福祉施設 望洋荘

第十回 望洋荘祭り

九月十五日(日)第十回望洋荘祭りを開催しました。当日は台風十八号の影響で大雨でしたので、施設内での開催となりました。出店や催し物をして下さるボランティアの皆様、御家族様等、施設内は熱気ムンムン、入居者様はじめ、スタッフも大いに盛り上がりました。また、恒例のバザーではスタートの合図と同時にたくさんのお客様で賑わいました。

悪天候にも関わらず多くの御家族様に足をお運び頂き、有難うございました。また、ボランティアの皆様お忙しい中ご協力を賜り感謝申し上げます。



九月一日(日)午後二時より、勿来ユニット家族交流会を開催しました。すいか割を御家族様と行ったり、お好み焼きを焼いたり、一緒に楽しい時を過ごされました。スライドショーは、毎回皆様に大好評です。最後に、御家族様とスタッフより入居者様に写真のプレゼントがありました。嬉しさのあまり涙ぐむ光景も見うけられました。



家族交流会 勿来ユニット

福祉施設体験学習

九月十七日(火)～九月二十六日(木)の期間、市内、四校の中学一、二年生が福祉施設体験学習「インスタントシニア体験」に来荘しました。初めは、どのように入居者様と接して良いか戸惑いも見受けられましたが、一緒に折紙を折ったり、歌を唄ったりしていくうちに、次第に打ち解けあい、入居者様から、いろいろな昔話を教えて頂く事ができました。また、車椅子体験では、実際に生徒が車椅子に乗って段差のある所を上ったり下りたりする実施体験も行いました。体の不自由なお年寄りの辛さや大変さを少し理解出来たようでした。総合学習の一環として今回学んだ体験活動を、今後の学校生活に役立てて頂きたいと思えます。

藤間中学校・小名浜第二中学校・豊間中学校・江名中学校の皆様、ありがとうございました。



仲秋の名月

九月十九日は仲秋の名月でした。望洋荘から眺める名月は、いつみても荘厳な気持ちにさせられます。美しい限りです。



地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

「敬老会」さつま芋の会 福島支部様

九月十六日(月)「さつま芋の会 福島支部」様が来苑くださり、敬老会を行いました。総勢十二名の方々が登場、テИАでお越しくださり、「千歳川」の歌からはじまり、「よさこいソーラン」のよさこい踊りまでの全十一曲を約一時間に渡り披露してくださいました。途中、施設の職員も飛び入り参加で、ピンキーとキラーズの「恋の季節」を一緒に踊らせていただきました。本番前に数回練習しただけでしたので、皆様方とはテンポやリズムが少しズレたおかげで、入居者様に大うけでした。入居者の皆様、最後まで、アンコールの声を掛けるなど、懐かしい唄や活気のある踊りを大いに楽しんでいました。

また、入居者様全員にハンカチのプレゼントまで戴き、皆さん大喜びでした。「さつま芋の会 福島支部」の皆様本当にありがとうございました。



偶然ですが、星さんと三浦さんのお孫さん同士がご夫婦で、そのお子さん(曾孫)も今回ソーラン節を踊られていました。

「長橋病院まつり」に行つて来ました。

九月二十八日(土)午後一時三〇分から、長橋病院様のご厚意により、「長橋病院まつり」に参加させて頂きました。会場は病院玄関から道路を挟んだ向かいの駐車場で行われました。会場に入つて最初に目についたのが数多くのテーブル・イス・パラソルの三点セットがずらりと並び、おもてなし心を感じました。中に入つていくとそこには「焼きそば 焼き鳥・お好み焼き・ジュース・アイス・綿菓子」のブースが並び、どこも行列が出来ていました。さらに進むと大きな特設ステージがあり、そこではフラダンスや和太鼓の演奏などの催し物が行われていました。施設から入居者六名とそのご家族・職員と大勢で押しかけてしまいました。それぞれに引換券を戴き、みなさま食べて飲んで、見て大いに楽しめました。

長橋病院の皆様、誠にありがとうございました。



「好間中学校体験学習」

9月3日から4日の二日間好間中学校の三年生9名が体験学習に当施設に来苑しました。入居者様と一緒に折り紙をしたり、談話したりと交流を図っていました。また車椅子の試乗や様々な食形態の食事を体験して、高齢者の方々の大変な想いがわかったと話していました。



「紫蘇の実摘み」

9月21日の午後から正面玄関前で、紫蘇の実摘みを皆様で行いました。たくさんの紫蘇から丁寧に実を摘む作業は根気のいる仕事で、途中まだあるのと弱音を吐く方もおりました。大きなビニール袋2個も収穫があり、来苑されたご家族様にお裾分けして、残りは塩漬にしました。

【防災の日】

九月一日は、「防災の日」です。早いものであの忌まわしい東日本大震災(全壊・半壊約四〇万戸、死者・行方不明約一万八五〇〇人)の発生から約二年半の月日が経過しました。当時をいま冷静に考えると子供の頃から学校などで防災・避難訓練等を行っていることによつて多くの人が地震の知識やどのような行動をとれば良いのか身につけていたと思います。これにより被害も最小限に食い止めることが出来たと思います。これも「防災の日」があつたからではないでしょうか。

そもそも「防災の日」は、昭和三十五年に閣議で九月一日を「防災の日」とすることが決定されました。その背景には、前年の昭和三十四年九月二十六日に「伊勢湾台風」によつて戦後最大の被害(全半壊・流失家屋約十五万三九〇〇戸、死者・行方不明約五一〇〇人)を被つたことがあり、地震や風水害等に対する心構え等を準備するために「防災の日」を創設し、全国各地で防災訓練が行われる日となりました。

なぜ九月一日が防災の日になつたのか? 関東大震災(全壊・全焼約三二万戸、死者・行方不明約一〇万五千人)が発生した日が大正十二年九月一日であつたこと。また、古来わが国では暦の上で立春から数えて二一〇日目の日(太陽暦の九月一日あたり)に台風が来襲する厄日とされていたことから、九月一日を防災の日としたそうです。

万が一に備えた訓練や備蓄などが、もつとも重要であり、皆様も日頃から心掛けてください。

【十月の行事予定】

望洋荘

- 十月二日(水) 午前十時より「バーベキュー」豊間・シヨートユニット
- 十月六日(日) 午前十一時より「家族交流会」永崎ユニット
- 十月十三日(日) 午後二時三〇分より「おやつバイキング」全ユニット

【十月のお誕生日】

望洋荘

- 十月三日(日) 四倉ユニット 佐藤 キクエ様 (八一歳) 誕生会
- 十月五日(土) ユニット 草野 和子様 (八八歳) 誕生会
- 十月六日(日) 豊間ユニット 八島 恂様 (九八歳) 誕生会
- 十月十日(木) 四倉ユニット 阿部 ナツ子様 (九一歳) 誕生会
- 十月十一日(金) ユニット 坂本 ミイ子様 (九六歳) 誕生会
- 十月十三日(日) 豊間ユニット 矢内 光子様 (九三歳) 誕生会
- 十月二十日(日) ユニット 吉田 ハナ様 (九三歳) 誕生会
- 十月三十日(水) ユニット 大竹 サタヨ様 (九六歳) 誕生会

【十月の行事予定】

せんしょう苑

- 十月三日(木) 午前十一時三〇分より「フラダンス見学ハワイアンズ」東ユニット
- 十月七日(月) 午前十一時三〇分より「フラダンス見学ハワイアンズ」東ユニット
- 十月二〇日(日) 午前十時から「マルト衣類訪問販売会」全ユニット
- 十月二一日(月) 午前十一時より「フラダンス見学ハワイアンズ」西ユニット
- 十月二三日(水) 午前十一時三〇分より「フラダンス見学ハワイアンズ」南ユニット

【十月のお誕生会予定】

せんしょう苑

- 十月二六日(土) みまや 西ユニット 鈴木 章子様 (八八歳) 誕生会
- 十月二七日(日) みまや 東ユニット 永山 しげ様 (八九歳) 誕生会

編集後記

『せんしょう苑・望洋荘』便り
平成二十五年九月三十日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246)388-6331

電話 (0246)551-7373